

書 陵 部 紀 要 総 目 次 (十一号—二十号)

第十一号

図版(正倉院錦綾・正倉院年報資料・一代要記・小槻匡遠記)	橋本義彦	(四頁)
官務家小槻氏の成立とその性格		
—下級官僚氏族の典型として—		
内膳奉膳について	後藤四郎	19
—高橋安曇二氏の関係を中心として—		
一代要記について	今江広道	30
—東山御文庫本を中心として—		
正倉院錦綾に見る特異技法の一考察(註)	佐々木信三郎	50
上代裂の染色に関する化学的研究	高上六郎	72
正倉院髹漆品調査報告(下)	松田権六 北村久造	77
史料紹介 小槻匡遠記	吉野富雄 岡田義彦	89
集 報	橋本義彦	100
正倉院年報		106

第十二号

図版(正倉院の綾)	橋本不美男	(二六頁)
源国信と恋昔百首		
—堀河院歌壇の終焉—		
民間浄土思想の系譜に関する試論	平林盛得	15
—空也布教の背景—		
公家領荘園の研究	田沼睦	26
—十六世紀初頭における領主権と在地状勢—九条家領日根野荘の場合—		
世襲親王家の継統について	武部敏夫	42
—伏見宮貞行・邦頼兩親王の場合—		

正倉院の綾	西村兵部	90
史料紹介 土石記	平林盛得	107
正倉院年報		111
集 報		

第十三号

図版(周庭帯と陪家・正倉院の錦)	末永雅雄	1
古墳の周庭帯と陪家	早川庄八	43
所謂「伊予国正税帳」について		
正倉院の錦	太田英藏	57
概 説	佐々木信三郎	68
組 織	西村兵部	81
各 説	石塚一雄	126
資料紹介 沙弥蓮愉集		143
正倉院年報		147
集 報		

第十四号

図版(正倉院十鞍・時範記)	菊地康明	(六頁)
公田賃租について		
—地子の太政官輸納制度の成立と変遷—		
花山法皇と性空上人	平林盛得	37
—平安期における一持経者の周辺—		
徳川家康の關東転封に関する諸問題	川田貞夫	54
正倉院十鞍について	鈴木治	79

上代裂の染色に関する化学的研究

資料紹介 時範記

正倉院年報

彙報

高上 川木 庄六 豊郎

99 94

第十五号

図版(聖語蔵五月一日経・伏見宮旧蔵図書)

紀伊国阿豆川庄の伝領関係

畿内在地領主の一考察

―和泉国和田氏の場合―

聖語蔵五月一日経の筆者と書写年代その他(一)

伏見宮旧蔵図書仮目録

正倉院年報

彙報

今江 広道 飯倉 晴武 松本 包夫

16 1 98 93 62 39

(一〇頁)

第十六号

図版(天寿国曼荼羅繡帳・聖語蔵五月一日経)

白河院と和歌

―後拾遺集の撰集下命をめぐって―

聖語蔵五月一日経の筆者と書写年代その他(二)

天寿国曼荼羅繡帳縁起勘点文について

幕末の修陵について

彙報

正倉院年報

橋本 不美男

1 (一一頁)

第十七号

外記日記と殿上日記

公田段銭と守護領国

橋本 義彦 田沼 睦

16 1

聖語蔵五月一日経の筆者と書写年代その他(三)

世子能楽風情論

―女能の様式的変遷について―

資料紹介

後崇光院宸筆 物語説話断簡について

時範 記補遺

彙報

正倉院年報

図版(聖語蔵五月一日経)

松本 包夫 八尾 正治

44 34

石塚 一雄 早川 庄八

97 90 88 74

(二頁)

第十八号

古事記女性称呼考

日本曹洞宗に於ける大日能忍の達磨宗の消長

―徹通義介をめぐって―

世子能楽風情論 ―承前―

正倉院宝庫の裏衣香(えひこう)について

彙報

正倉院年報

図版(正倉院宝庫の裏衣香)

川副 武胤 嗣永 芳照 八尾 正治

31 1 71 43

(111)

渡辺 武

87 80

(二頁)

第十九号

海部管見

藩制確立期の新田開発

―仙台藩の場合―

日葉酢媛命御陵の資料について

上代裂の染色に関する化学的研究(四)

資料紹介

後崇光院御文類

後藤 四郎 榎山 和民

13 1

石田 茂輔 高木 六郎

63 37

飯倉 晴武

69

尊円法親王御詠草三種

彙報

森 縣

正倉院年報

104 92 84

凶版(日葉酢媛命御陵)

(六頁)

第二十号

凶版(後白河天皇御像・智仁親王御年曆)

後白河天皇法住寺陵の御像に関する調査報告

(一〇頁)

御木像の形状について

毛利 久

御木像の彩色について

松村 政雄

御木像の年代について

小林 剛

御絵像について

梅津 次郎

御絵像の紙背注記と願文について

赤松 俊秀

御木像の御厨子と法華堂に転用された古材について

浅野 清

八世紀の郡司について

米田 雄介

「弘養法華伝」保安元年初伝説存疑

平林 盛得

源俊頼と連歌

小池 一行

—散木奇歌集卷十を中心として—

林 恵一

張幼子論

70

—伝記研究の視界から—

史料紹介 智仁親王御年曆

嗣永 芳照

彙報

99 93

正倉院年報

110 103

書陵部紀要総目録(十一号—二十号)